

## 教員紹介(教育業績書)

氏名	ひらがな	職位	所属(学科等)
座間味 愛理	ざまみ あいり	講師	保育学科
教育理念(学生へのメッセージ)			
<p>哲学者のアランは、「幸福とは、自分の価値を知ってくれている人の傍にることである」と言っています。</p> <p>心理学を学ぶことで、人のもつ力、価値を理解する多くの視点を得ることができます。確かな専門的知識を習得し、人や自分の価値を知り、子どもの発達を支える保育実践者の養成を目指します。</p>			
教育の責務			
保育の心理学	子ども家庭支援の心理学	子ども理解と援助	
保育相談	心身の発達と学習過程(専攻科)	修了研究Ⅰ～Ⅲ(専攻科)	
2年生のクラスアドバイザーとして、修学・就職支援を行っている。			
教育方法			
<p>専門用語や理論を説明する際には、実際の映像や身近な例を用いて学生がイメージしやすいよう心掛けています。また、ワークやロールプレイを積極的に取り入れ、体験的理解を重視した学習方法を展開しています。</p>			
他者評価			
平成28年度の「ためになった授業アンケート」により、ベストティーチャー賞を受賞しました。			
学生の学修成果			
修了研究Ⅰ～Ⅲを担当した専攻科学生が、平成29年度修了研究学長賞を受賞しました。			
今後の目標(短期・長期)			
<p>保育実践の場における子どもの行動を心理学的視点で捉えた教育教材の作成</p> <p>からだを用いてこころに働きかける研究成果と研修ワークを活用した子育て支援・地域貢献</p>			
専門分野(学問分野/専攻)			
臨床心理学	発達心理学	心理リハビリテーション	
研究テーマ(研究領域)			
からだを用いてこころに働きかける心理療法(臨床動作法)・心理的課題をもつ青年の未来展望の形成へ向けた支援			
所属学会			
日本心理臨床学会	日本教育心理学会	日本リハビリテーション心理学会	
学歴・学位・免許資格			
平成22年3月	九州大学大学院人間環境学府 実践臨床心理学専攻	修了(修士号取得)	
平成23年4月	日本心理臨床学会認定 臨床心理士	取得 第23588号	
平成24年3月	九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻		
	臨床心理学指導・研究コース博士後期課程単位取得満期退学		
平成31年2月	公認心理士	登録 第7830号	
職歴			
平成20年4月	九州大学人間環境学附属総合臨床心理センター	相談員(平成25年度まで)	
平成22年4月	長崎国際大学	学生相談室 非常勤カウンセラー(平成24年度まで)	
平成25年4月	九州大学大学院人間環境学府	学術協力研究員(平成25年度まで)	
平成26年4月	長崎短期大学	保育学科保育専攻 講師	

教育研究業績	著書、学術論文等の名称	発行所、発表雑誌等又は発表学会等
平成 23 年 9 月	「発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の検討(3)-卒業生を対象とした抑うつ傾向・適応感の追跡調査から-」	第 30 回日本心理臨床学会発表 (共著)
平成 24 年 12 月	「強迫的構えを有する大学生への臨床動作面接における自己対峙的体験と他者対峙的体験」	日本リハビリテーション心理学会 第 39 巻 2 号(単著)
平成 25 年 1 月	「発達障害を有する青年の適応と課題集団心理療法 -もくもくグループの終結者を対象とした追跡調査から-」	九州大学総合臨床心理学研究 第 4 号(共著)
平成 25 年 1 月	「 The Affective World of Autism:-A Review of Contemporary Evidence-」	九州大学総合臨床心理学研究 第 4 号(共著)
平成 25 年 3 月	『サポートナビゲーション』	北九州市立大学学生相談室(共著)
平成 27 年 3 月	「保育者養成校に対する地域ニーズに関する調査研究—保育者の成長プロセスに着目した養成校の在り方の検討—」	長崎短期大学紀要 第 27 号 (共著)
平成 27 年 7 月	New Direction of self-control (as a JIKO-control) of Dohsa-hou (Japanese original psychotherapy using body-movement technique)	第 14 回 ヨーロッパ心理学会発表(共同)
平成 27 年 7 月	Self-confronting experience and Therapist-confronting experience in Dohsa-hou for student with Obsessive-compulsive.	第 14 回 ヨーロッパ心理学会 (単独)
平成 27 年 11 月	「発達臨床における動作法—青年期 —学生相談における主訴と動作法の導入の工夫—」	心理リハビリテーション研究所 (単著)
平成 28 年 3 月	「保育者養成校に対する地域ニーズに関する調査研究 (2)—未就学児をもつ保護者のサポートニーズと保育の専門性に着目して—」	長崎短期大学紀要 第 28 号(共著)
平成 28 年 3 月	『学生サポートブック～教職員ができるサポート～授業編～』	長崎国際大学・長崎短期大学 (共著)
平成 28 年 7 月	Introduction to Dohsa-hou (Japanese original psychotherapy using a body-movement technique)-how the somatic-psychology contributes to problems in clients-	第 31 回 国際心理学会発表(共同)
平成 31 年 10 月	『臨床動作法の実践を学ぶ』「青年期における臨床動作法」	新曜社(分担)
<b>社会における活動等 (学会・研究会等の委員・役員／講演会／社会貢献／表彰／他)</b>		
平成 21 年 4 月	福岡県豊前市教育委員会就学指導委員(平成 25 年度まで)	
平成 22 年 3 月	九州大学大学院人間環境学府実践臨床心理学専攻 修士論文 学府長賞奨励賞 受賞	
平成 25 年 4 月	日本リハビリテーション心理学会 研究奨励賞 受賞	
平成 31 年 4 月	日本リハビリテーション心理学会 全国大会(長崎大会) 大会実行委員	